

[CASE 02]

あべ ひさよし 阿部 久喜さん

河北町消防団第1分団第1部第1班

生まれ育った町に貢献したい 思いを固めた、初めての消防演習



河 北町役場に勤務する阿部さんは、就職をきっかけに消防団へ入団。生まれ育った河北町で、役場職員としても消防団員としても、地域へのまなざしを注ぎます。

「入団して初めての消防演習で、町内の消防団員の方が一堂に会した場面を目にしました。想像以上にたくさんの方が参加されていて、感動したことを今でも覚えています」

自分たちの町を守るため活動する消防団の、心強い姿に感銘を受けたと語る阿部さん。仕事との両立はそんな仲間たちと支えあって実現できていると続けます。

「私の場合は職業柄、豪雨などの災害が発生すると役場職員としての業務が優先されます。そのため、消火栓などの点検をする予防査察やさまざまな講習会など、日常の活動にはできる限り参加するようにしています」

一人の力には限りがあっても、協力することで大きなことを成し遂げられます。阿部さんが消防団の仲間と育む絆は、安心して暮らせる町づくりにしっかりつながるものです。

Q1 やりがいはどんな時に感じますか？

仕事をしているだけでは得られなかった、仲間もできましたし経験もできました。消防団活動をしているからこそ知り合えた方がたくさんいるので、それは役場職員としての仕事にとっても良いことだったと思います。あと活動用のヘルメットをかぶっていると、息子に「かっこいい!」と言ってもらえます。

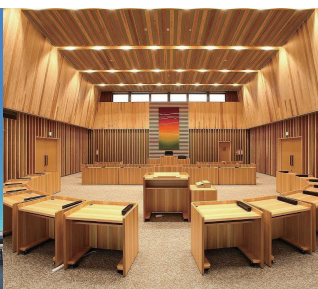


Q2 プライベートの時間は確保できますか？

頻繁に会合をしているイメージを持っている方もいるかもしれませんが、実際は、一般の団員であれば活動の無い週の方が多くと思います。家族も消防団活動を理解してくれていますし、私は入団する前よりもずっと深く地域と関わることができて、やりがいを感じています。



消防団に興味を持ったら、気軽に参加してみよう! きっとどの団でも歓迎してくれると思いますし、消防団でしか経験できないこともありますよ。



1

2

3

1.帽子などを貸してもらってご満悦の子どもたち。阿部さんも家に帰ると目尻が下がります

2.操法大会に出場した際の記念写真

3.2022年1月に新庁舎が開庁した、阿部さんが勤める河北町役場。町内産のスギ材がふんだんに使われています